

あなたに託すボタン

ク
ア
ト
□

■作品概要

△サークル▽

癒し庵もち猫（シナリオ／効果音／音声編集…クアトロ）

△ジャンル／年齢指定▽

バイノーラル音声作品／全年齢

△作品ポリシー▽

60m **400文字数6,708文字**

△舞台▽

現代／全トラック海美の病室で録音したという設定

■登場人物

△ヒロイン▽

名前 …七瀬海美（ナナセウミ）／16歳／一人称 私（わたし）

人物 …聴き手の彼女／病により余命半年の宣告を受けていた

明朗な性格で好奇心旺盛

趣味など …音声作品の制作

△聴き手▽

先輩 …七瀬海美の先輩／彼氏

(全トラック聴き手が録音した音声を聴いている)

1…あなたに託すボタン【634文字】

(位置…正面／距離近い／有声音／小声)

あゝあゝテストテスト。

録音できてるかな…。

(七瀬がマイクを触る音…左右)

うん、大丈夫そう。

先輩、おはようございます。

(位置…右／距離近い／有声音／小声)

それとも、こんにちは？

(位置…左／距離近い／有声音／小声)

あゝこんばんはかな？

まあなんでもいっつか♪

(位置…正面／距離近い／有声音／小声)

今日は、病室に機材を持ち込む許可が下りたので、収録してまゝす♪
なんでも「トクベツ」なんだそうです♪

うゝん…でも、多分これが最期の収録になるかな？

この半年間、なんとか足掻いてみましたけど、どうやらダメっぽいです。
先輩がこれを聴いている…という事は、まあそういう事です。

いやゝ情けないなゝ。

悔しいなゝ。

でも、覚悟はしていましたから、ドンマイ私って感じですかねゝ。

あ、そうそう。

いくつか新作の音声を録って、編集しておきました。

と言っても、かなり雑な編集になっちゃいましたけど…あはは。

頑張って録って編集したので、たくさんリピして下さいね♪

え〜と…余り長く起きていられないので、短いですが、これくらいで、あ、そうだ。

一番大事な事を言い忘れていました。

先輩、私が居なくても、同人活動は辞めないで下さいよ？

私をこの沼に引きずり込んだの、先輩なんですからね？

このバトンは受け取ってもらいます♪

しっかり握って、歩んで…ううん、走って下さい…。

走って…走って…走り続けて…。

もし疲れたら、立ち止まっても構いません。

ですから先輩、このバトン、落としたりしないで下さいね。

じゃあ先輩、お元気で。

え〜と…その…湿っぽくなるのはイヤなんですが…。

後輩としてではなく…あなたの彼女として…最期にひと言だけ…。

『愛しています。』

七瀬海美より。

2…三月一日【977文字】

(位置…右／距離近い／有声音／小声)

(呼吸音) すう…。

え〜と、今日は三月一日です♪

(位置…左／距離近い／有声音／小声)

(呼吸音) すう…。

まだまだ寒い日が続いてま〜す。

(位置…正面／距離近い／有声音／小声)

早く暖かくなるといいな〜。

あ、この部屋、桜がよく見えるんですよ♪

満開になったら、きつと凄いだろうな〜♪

っと、いけない、録音してるんだった、あはは。

このトラックは、綿棒耳かきトラックで〜す♪

お耳の外側に着いた汚れを、サツサツと拭い取ります♪

早速、用意した綿棒を…取り出しまして…。

（綿棒を取り出す音）

（位置…正面から右へ移動しながら／距離近い／有声音／小声）

ほら先輩、膝枕しますよ〜。

（位置…右／距離近い／有声音／かなり小声）

先輩、そのまま私の膝に、頭を預けて下さい？

（マイクの衣擦れ音…左）

は〜い、じゃあ綿棒耳かき、始めましょう♪

（綿棒耳かき音）

お耳の溝を中心に…くるくる…くるくる…。

少しずつ移動して…くるくる…くるくる…。

時々溝に沿って払う様に…サツサツ…サツサツ…。

（しばらく無言）

（呼吸音）すう…。

ふふっ、先輩、これ好きですよね〜。

と言うか先輩、本当にお耳、弱いですよね〜♪

どうせ、ビクビク反応しちゃってるんでしょう？

強がっても無駄ですよ？

だって…。

（耳かき）ふう〜。

あはっ、不意打ちです♪

どうせ今、ビクッとしたでしょう♪

でもこれくらい、知ってて当然です♪

なんてったって、私は先輩の彼女、なんですから♪

なんでもお見通しの…くるくる…くるくる…。

先輩の弱い所を狙って…くるくる…くるくる…。

優しくマッサージする様に…サッサッ…サッサッ…。

(耳ふー) ふうう。

(しばらく無言)

(呼吸音) すう…。

はあい先輩、こちらのお耳はおしまい♪

次は反対のお耳で…す♪

ごろくん♪

(マイクが回転する衣擦れ音…左から右)

(位置…右／距離近い／有声音／かなり小声)

じゃあこっちも、綺麗にしていきましょう♪

(綿棒耳かき音)

(しばらく無言)

(呼吸音) すう…。

ねえ先輩？

こうして綿棒耳かきの音を録るの、先輩が教えてくれましたよね。

先の細い綿棒とか、ふわふわの綿棒とか、色々ある事…。

それぞれ音も違う事…。

熱心に教えてくれた…。

ああこの人は、本当に真剣なんだって…伝わってきた…。

そして、この活動の奥深さを知った…。

(しばらく無言)

（呼吸音）すう…。

そう言えば、録るマイクでも音が全然違うつて教えてくれましたっけ。
先輩、自作マイクも考えてるって言ってましたよね？

どんな物が聞いたら先輩、ホワイトボードに耳の断面図を書き始めて♪
ササッと書いた割りには上手すぎて、笑っちゃったな♪

それで「リアルな音を録りたいんだ」って熱弁してましたよね♪
ふふっ♪

自作マイク、もし完成したら、教えて下さいね。

あ、勿論、最初の作品は、私が一番目に聴きたいです♪
私、楽しみにしてるんですから。

ずっと、待ってます。

（しばらく無言）

（呼吸音）すう…。

そろそろこっちも綺麗になったでしょう。

はあい、おしまいです。

では先輩、お疲れ様でした♪

3…三月七日【1933文字】

（位置…正面／距離近い／有声音／小声）

やっほ〜先輩♪

今日は三月七日です。

春〜って感じで、気持ちのいい天気♪

あ、このトラックはですね、お耳のマッサージトラックです♪

先輩、お耳さわさわされる音、好きですもんね♪

今回は、保湿クリームを使って、マッサージしていきます♪

ふふっ、楽しみにしてて下さいね♪
では早速、クリームを手に取りまして…。

(七瀬がクリームを手に取り延ばす音)

はあい、じゃあ、お耳のマッサージ、スタート♪

(しばらく耳マッサージ音)

(位置…左／距離近い／有声音／小声)

(呼吸音) すう…。

どうです、先輩？

いい音でしょう？

きつと満足してもらえているはずですよ♪

このゾリゾリって音…クセになりますよね♪

(しばらく耳マッサージ音)

(呼吸音) すう…。

せくんばい、起きてます？

まあ寝ちゃっても、それはそれで嬉しいんですけど。

でもここから、もう少しアレンジするので、よく聴いて下さいね♪

(しばらく耳マッサージ音)

(位置…右／距離近い／有声音／小声)

(呼吸音) すう…。

どうです、心地よくないですか？

きつと先輩、満足して唸っているんでしょう？

ふふっ、バレたくって思ってますん？

それくらい、手を取る様に分かりますとも。

私を誰だと思っているんですか？

先輩の彼女ですよ？

(得意げに) ふふんっ♪

(しばらく耳マッサージ音)

(位置…左／距離近い／有声音／小声)

(呼吸音) すう…。

ねえ先輩、覚えてます？

先輩が音声作品を聴いていて、私がイヤホン盗っちゃった時の事♪
あれはまだ、先輩と付き合う前、片思いだった時…。

以前から気になっていたんです。

先輩はいつもイヤホンを着けて、なにを聴いているんだろうって。

先輩の事、もっと知りたくて、それでコッソリ近付いた。

そのまま耳からスポって、イヤホンを奪い盗った。

そうしたら先輩、あんぐり口を開けてちゃって♪

今でも鮮明に覚えてます♪

で、その時に聴いたのが、私にとって、初めての音声作品でした♪
聴いた瞬間、背筋にゾクゾクつときて、なんだこれ…って♪

(位置…右／距離近い／有声音／小声)

(呼吸音) すう…。

それで、先輩が音声作品が好きで、制作もしてるって知りました。

その時のゾクゾク感が忘れられなくて、気付いたら…私もドップリ。

え…つと、先ずバイノーラルマイクを買ったでしょ…。

オーディオインターフェイスも買ったし…。

音声編集も手探りで、色々と試しましたよね…。

街を歩いてて、これはどんな音がするだろうって考える様になったり♪
こういうのって、この界限あるあるかもしれませんね♪

凄く楽しかったな…。

こんなにも没頭できる事、今までになかったですから♪

(位置…左／距離近い／有声音／小声)

(呼吸音) すう…。

あ、それと♪

音声作品を投稿すると、色々なコメントがもらえるじゃないですか。
「待ってました」とか「ありがとう」とか「心地いい」とか。
嬉しい反応がたくさん♪

(位置…右／距離近い／有声音／小声)

(呼吸音) すう…。

それだけじゃないですよ。

なにより嬉しかったのは、先輩と共通の趣味ができた事♪
片思いだった私にとって、またとないチャンスでした。

先輩は…あく私よりも機材の方が大事…そういう感じでしたけど♪
まあそんな部分も含めて全部、先輩が好きでした。

だからこそ、勇気を出して告白しました。

先輩、イヤホンを盗られた時みたいに口を開けちゃって♪

まあ当然の反応だったのかもしれませんが。

先輩にとっては「知り合ったばかりの後輩」でしたもんね。

でも私にとっては「ずっと好きだった先輩」でした…。

まあそういうのもあって、私は断られるの、覚悟してたんです。
なので、あくこの反応はダメかなって…。

(位置…左／距離近い／有声音／小声)

(呼吸音) すう…。

でも先輩、ニッコリ笑って「はい」って…。

一瞬、聞き間違いかと思いました。

でも先輩は、私の手をギュっと握ってくれて、「よろしく」って…。
(涙ぐみながら)

嬉しくて、信じられなくて、嬉しくて…私、泣いちゃいましたよね。

本当に嬉しかったんです。

だってそれが、私の最初で最期の告白だったんですから…。

（独り言を呟く様に）いけない、ここリテイクしなきゃ…。

（ここまで）

（カラ元気といった感じで）

嬉しくて、信じられなくて、嬉しくて…私、泣いちゃいましたよね。

本当に嬉しかったんです。

大好きな先輩と、恋人同士になれたんですもん。

すっごく幸せでした♪

（ここまで）

（位置…右／距離近い／有声音／小声）

（呼吸音）すう…。

本当はもつと色んな所に出かけたかったんですけどね…。

まあ私がこんなでしたから、叶いませんでしたよね…。

でもどうせ、出かけたら出かけたで、環境音とか録ってそう♪

先輩、今頷いたでしょう♪

きつとそう。

先輩の事は、なんでもお見通し♪

でもそうだな…。

色んな場所の環境音…録ってみたかったな…って思いますね…。

例えば…サラサラと流れる沢の音とか…。

鳥と木々のざわめく森林の音とか♪

その場、その季節、その時にしか録れない音ってあるじゃないですか♪

なんて言うんですかね…。

その環境音を聴いただけで、情景や記憶が蘇って、私が居た証になる…。

目的地までの会話や出来事も、全部思い出に…。

そうだったら素敵だと思うんです。

ですから先輩、新しい環境音が録れたら、聴かせて下さいね♪

先輩だけの思い出、私にも教えて欲しいです♪

っと、いけない。

つつい語っちゃいましたね。

お耳マッサージ、これくらいにしましょう♪

そうしたら、余分なクリームは、タオルで拭きますね♪。

(タオルでマイクを拭う音…左右交互／左右同時)

(位置…正面／距離近い／有声音／小声)

はいっ、お耳マッサージは以上です♪

先輩、お疲れ様でした♪

4…三月十九日【2332文字】

(位置…正面／距離普通／有声音)

やつほゝ先輩、元気にしてましたか？

って、先輩は続けて聴いてるかもしれないから、日は経ってないか…。

えゝっと、色々あって、久しぶりの収録になっちゃいました、あはは。

あ、そうそうっ。

ここから見える桜、咲き始めたんですよっ。

窓を開けると、桜が舞い込んできて心地いいです♪

こうやって桜を見てると、先輩といつかお花見をしたかったなゝって…。

(独り言を呟く様に) ああ、いけない…。

えっと、このトラックは「ASMRと言えば」な耳かきトラックです♪

今日は、シンプルに竹耳かき棒でやってみます♪

じゃあ先輩には横になって頂いて…。

(マイクとの衣擦れ音…右)

(位置…左／距離近い／有声音／かなり小声)

はあい、それでは耳かき、スタート♪

(しばらく通常の耳かき音)

(呼吸音) すう…。

ねえ先輩…。

私が先輩からイヤホンを奪って聴いたの、あれも耳かき音でしたよね…。
どうです？

私、あの作品みたいに、上手くやれてますかね…？
もしそうだったら、嬉しいな…。

こんな状態ですけど、たくさん練習したんです…。
なので、それが実っていたらいいな…って。

あ、そうそう。

先輩は、ゴリゴリ系の耳かき音が好きでしたよね…。
例えば…こういうのとか…。

(ゴリゴリ系の耳かき音に変化)

ふふっ、急に音が変わって、ビックリしました？

私だって、色々練習してきたんです。

これくらい、造作もないです♪

じゃあ先輩の好きな音、私の成果、しばらく聴いて下さい♪

(しばらくゴリゴリ系の耳かき音)

(呼吸音) すう…。

どうですか？

心地いい音、出せてますかね？

いつか先輩を唸らせてやるんだ…って、色々と練習しました。

その成果、出たらいいな♪

どうだろうな。

んゝ先輩の事だから、ゾクゾクして肩を震わせてる…とか♪
あゝうん、きつとそう。

だってその光景が、簡単にイメージできるんですもん♪
あれはまだ、私が音声作品と出会う前でした。

偶然、先輩を街で見かけたんですよね。

先輩、イヤホンを着けて肩を震わせていたんです。

その時はてつきり、笑いを堪えているものとばかり思っていました。
なので私、気になったんです。

さぞ面白い物を聴いているんだろうなって。

でも実は、ゾクゾクして、それを我慢していただけだった。
そんな事を知らない私は、とある悪い事を考え始めました。

「いつかあのイヤホンを奪い盗って、聴いてやろう」って♪

そして音声作品と出会った日、私の世界は色付いた…。

それくらい、衝撃的でした。

だって私の日常は、病院と学校と家を行ったり来たりする日々で…。
ものすごく退屈だったんですもん…。

無色透明…そんな感じ…。

あ、そうそう。

私ったら、先輩に掴みかかっちゃいましたっけ♪

「なんですかコレっ！」って♪

あんぐり口を開けた先輩が「音声作品」って教えてくれましたよね♪
さてさて先輩、話の途中ですが、そろそろ梵天をしますよ…。

先輩、この音も大好きですよね…♪

私も好きなので、分かります♪

じゃあ梵天でふわふわしましょうね…♪

(耳かき棒を持ち変える音)

(しばらく梵天の音)

(呼吸音) すう…。

どうです〜先輩♪

満足頂けてますか〜？

きつと、うんうんこれこれって顔、してるんだろぅなあ♪

(耳ふー) ふう〜ふう〜。

ふわふわ〜ふわふわ〜こしよこしよ〜こしよこしよ〜。

ふわふわ〜ふわふわ〜こしよこしよ〜こしよこしよ〜。

(耳ふー) ふう〜。

ふわふわ〜ふわふわ〜こしよこしよ〜こしよこしよ〜。

ふわふわ〜ふわふわ〜こしよこしよ〜こしよこしよ〜。

(耳ふー) ふっふう〜。

はあい、こつちは綺麗になったでしょう♪

先輩、反対側、いきますよ〜♪

(マイクの衣擦れ音)

(位置…右／距離近い／有声音／かなり小声)

じゃあこちらも、耳かきしますね〜♪

(しばらく耳かき音)

(呼吸音) すう…。

そう、で、さっきの続きなんですけど、音声作品。

最近話題になってるって、それくらいの知識でなら私も知ってました。

けど、あんなにも心を揺さぶられるものだったなんて…。

単に効果音の心地よさだけじゃない。

ストーリーや声優さんの演技も凄くて、グッと引き込まれて…。

こんなに素敵な作品…ううん、素敵な世界があるんだって、知った…。

それから少しして、先輩と付き合う様になって…。

先輩に触発されて、私まで音声作品の制作を始めちゃって♪
楽しかったなあ…。

例えば…バスを乗り継いで、環境音を録りに行った事♪

声が入らない様に、ジッと座って、ただただ音を録りましたよね♪
山からお猿さんが出てきた時は、思わず声が出ちゃいましたけど♪

(しばらく耳かき音)

(呼吸音) すう…。

あ、そうそう。

あとは…私の名前にもある、海っ♪

近くの砂浜で、波の音も録りましたよね♪

海面がキラキラ眩しくて、優しい海風が頬を撫でて、最高だったなあ♪
音を録って確認、これの繰り返し。

目当ての音が録れなくて、ヤキモキしたり。

思わぬ音が録れて、嬉しい発見があったり。

そうして録れた音を、作品に落とし込む…。

作品と言っても、声は私自身でしたけどね、あはは…。

それを投稿サイトにアップロードして、聴いてもらう…。

私もいつか、声優さんに依頼して、作品を作りたかったな。

それで、もっともっとたくさんの人に聴いてもらうんです♪

それが私の夢でした。

(しばらく耳かき音)

(呼吸音) すう…。

ねえ先輩、音声作品なんですけど…。

先輩もたくさんの人に聴いてもらいたい、そう考えているんでしょう？
ううん、そう思っているに違いありません。

きつと先輩は、大きな事をやってのける…。
そう信じてます。

ですからその夢、叶えて下さいね。

そしてその高みへ、私も連れて行って下さい♪

頼みましたよ、先輩♪

つという事で、そろそろこちらも梵天をしていきましょう♪

(耳かき棒を持ち変える音)

ふわふわ～ふわふわ～こしよこしよ～こしよこしよ～。

ふわふわ～ふわふわ～こしよこしよ～こしよこしよ～。

(耳ふー) ふう～ふう～。

ふわふわ～ふわふわ～こしよこしよ～こしよこしよ～。

ふわふわ～ふわふわ～こしよこしよ～こしよこしよ～。

(耳ふー) ふっふう～。

最後にもう一回♪

ふわふわ～ふわふわ～こしよこしよ～こしよこしよ～。

ふわふわ～ふわふわ～こしよこしよ～こしよこしよ～。

(耳ふー) ふう～ふう～。

はあい、耳かきは以上でおしまいです♪

どうでしたか、先輩？

私、成長できてましたか？

よかったら感想、聞かせて下さいね♪

それじゃあ先輩、お疲れ様でした～♪

ボイスメモ１…あとで消す【832文字】

（位置…正面／距離近い／小声／独り言なのでボソボソ喋る感じ）

あゝあゝテストテスト…うん、録れてる。

えゝつと、収録機材を病室に持ち込んで、録ってまゝす。

せつかくの晴れ模様ですが、外出許可は下りませゝん。

病院の庭を歩くくらいだったら、いいと思うんですけどねゝ。

まあ、倒れて怪我しちゃいけないとか、そういう理由なんでしょうけど。

面会もダメゝ外出もダメゝでウンザリ…。

で、その代わり、収録機材の持ち込み許可が下りましたゝ。

「そこはいいんかい」って感じですが、まあお言葉に甘えましょう。

そんなこんなで、病室までやってきたマイクくん。

これが私の相棒でゝす。

（海美がマイクを触る音）

やあマイクくん。

キミはもうすぐ持ち主を失う訳だけど、この先どうするかねゝ？

先輩に譲る…とか？

……ありっちゃありかあ…。

でも迷惑かもしれないし、うゝん…。

タイムリミットが迫っているので、近い内に決めたいと思いまゝす。

今日はもう就寝時間なので、接続テスト、終わります。

ボイスメモ2…あとで消す

(位置…正面／距離近い／小声／独り言なのでボソボソ喋る感じ)
綿棒耳かきトラック、今録り終わりました。

いや、時間がかかったな。

カットする部分も多いし、編集大変そうですね。

まあそうは言っても、病室でこれだけノイズが少ないのは助かるな。

えーっと、明日は今録ったトラックを整音して…。

あ、効果音も録らなきゃだ…。

うん、よし、頑張ろうっ。

ボイスメモ3…あとで消す

(位置…正面／距離近い／小声／独り言なのでボソボソ喋る感じ)

えー今日も晴れ。

庭の桜がポツポツと咲き始めましたが、外出許可は下りませ〜ん。

あ〜お花見したい。

でも収録があるので、そっち優先ですね。

予定している音声は、なんとか録りたいので、頑張ります。

ボイスメモ4…あとで消す

(位置…正面／距離近い／小声／苦しそうにボソボソ喋る感じ)

(しばらく無言)

(ため息) はあ…残り一ヶ月…か……。

(しばらく無言)

え、今日は、お薬の副作用で、ダウン中で……。

(しばらく無言)

(ため息) はあ……先輩……会いたい……。

ボイスメモ5…絶対にあとで消す

(位置…正面／距離近い／小声／かなり苦しそうにボソボソ喋る感じ)

テスト…よし…。

はあ…はあ…。

先輩に渡す音声、編集できました…。

でも…中々に酷い仕上がりかも…。

台詞も…編集も滅茶苦茶…。

もっと早くから準備…しておくんだった…。

はあ…はあ…。

最期の音声作品がこんななんて…情けない…。

まあ…仕方ないか…。

あと、このボイスメモ…忘れず削除しないと…。

はあ…はあ…。

今日はもうダメ…疲れちゃった…。

お休み…なさい…。